



彩り少なく寂しかった箱根の山々も山桜のピンクが加わり、春の訪れを感じるようになりました。新学期を迎え、進級した年中児、年長児は4/7に先輩になり誇らしげな表情を浮かべて登園してきました。2週間ぶりの再会でしたが、グッと心が成長したように見え、これからが楽しみです。

昨年度はコロナ禍の中、保護者の皆様には様々なご協力を得て、無事に1年を終えることができ感謝申し上げます。今年度もまだまだ予断の許さない日々が続いていますが、昨年度のノウハウを生かし、感染予防に努めながら「できること」と「まだできないこと」を見極め、子ども達がのびのびと過ごせるように努めてまいります。

始業式には「挨拶を交わす心地よさや大切さ」と「好きなことをたくさん見つけたり、ひとつのことに夢中になって遊んだりし、〇〇博士になろう！」と子ども達に伝えました。一人一人が織りなす遊びや生活が、合い間って箱根幼稚園ならではの素敵な経験が展開されていくように職員一丸となって頑張っていきたいと思ひます。

1年間どうぞ協力お願いいたします。



### 入園おめでとうございます。

4月8日に新入園児を迎え、入園式を行いました。新入園児を迎える前には、ばら組、さくら組のお友達で「お迎えの言葉会議」が開かれました。「幼稚園ってどんなところがわかるといいね。」と伝えると自分たちの入園の頃を振り返りながら「初めはどんなところがわからなくて怖かったんだよね。」「幼稚園って楽しいところだね。」「うん。色々なことが発見できる場所。」そんな会話が生まれてきました。3歳時のいろいろな感情を思い出したり、自分たちが毎日生活する中で感じたりしたことが言葉になって出てきました。これは、経験してきた子ども達の本当の気持ちだと思います。当日は「聖菜ちゃん、湊君入園おめでとう。幼稚園は怖くないよ。楽しいよ。明日から一緒にたくさん遊ぼうね。」とお祝いの言葉を伝え、手作りのお手紙ばさみを渡すことができました。新入園児の二人も可愛らしく「はい」と返事をしてくれました。これからみんなでたくさん楽しいことを発見していきましょうね。



### はなまつり

花まつりは、華やかな花御堂に安置された誕生仏に甘茶を注ぐことで仏を供養し、子ども達の健康を祈る行事の事です。毎年4/8に行われるので入園式後興禅院さんに伺わせていただきました。甘茶の葉は、そのままでは苦いのですが、発酵すると砂糖の100倍から1000倍の甘さになるそうで、少し頂くと口いっぱい甘さが広がりました。普段はなかなかできない経験に子ども達はいろいろなことを感じたようで、帰ってきた子ども達に感想を聞くと3歳児が「お花がいっぱいで春だったよ。」と教えてくれました。地域の方の温かな眼差しを感じ、職員も新しい年度の始まりに幸せを感じた日になりました。



### 職員紹介

副園長 白川 三枝

(5歳児担任) 生まれも育ちも箱根っ子です。箱根の豊かな自然や歴史と文化を6人の子ども達と一緒に楽しみ、地域に子ども達の笑顔を届けていきたいと思ひます。

3.4歳児担任 勝俣 京代恵

箱根幼稚園3年目になりましたが、新たなお友達と新たな気持ちで、楽しく過ごしたいと思ひます。

庁務員 村田 照美

安心、安全に遊べるように整備、清掃に努めたいと思ひます。

園長 金井 潤子

子ども・保護者・地域・職員が手を携え、共に響き合う園作りを目指します。

どうぞ1年間よろしくお祈りいたします。

閑望先生が、週に1回程度、預かり保育にきてくださいます。高緑早苗園長先生は、退職になられました。

新たな場所での活躍をお祈りいたします。